西方川水系流域治水プロジェクト

【位置図・ロードマップ】

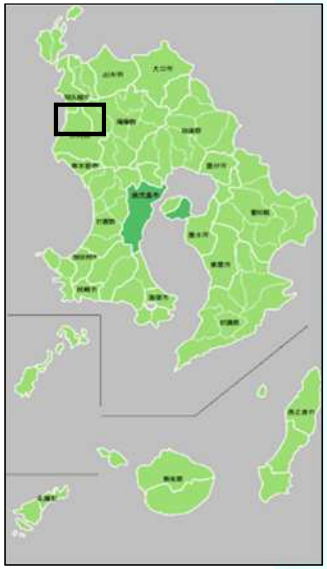
～いつか必ずくる大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

北薩地域流域治水協議会

西方川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～ いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

〇令和元年東日本台風など，全国各地で甚大な被害が発生していることを踏まえ，西方川水系においても，流域内のあらゆる関係者が協働して流域全体で対応する必要があることから，以下の取り組みを実施していくことで，流域における浸水被害の軽減を図る。



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【洪水氾濫対策】
- ・河道掘削等〈県〉

【内水対策】
- ・排水路整備〈市〉

【流出抑制対策】
- ・いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進〈県〉
- ・森林整備による流出抑制対策〈県等〉
- ・治山施設整備による土砂流出抑制対策〈県〉
- ・公共施設による雨水貯留施設整備〈市〉
- ・水田貯留〈市〉

※今後，関係機関と連携し対策検討

■被害対象を減少させるための対策

【地域の防災力を高める警戒避難体制の強化】
- ・いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ソフト対策）〈県〉

【土地利用・住まい方の工夫】
- ・宅地嵩上げ，高床住宅の建設促進〈市〉

※今後，関係機関と連携し対策検討

■被害の軽減，早期復旧・復興のための対策

【土地のリスク情報の充実・提供】
- ・洪水浸水想定区域図の作成・公表〈県〉
- ・地区防災計画の作成〈市〉

【防災情報，避難体制の検討・連携強化】
- ・水位計等の設置，防災情報の提供〈県〉
- ・マイタイムラインの作成・支援〈県，市，気象庁〉
- ・鹿児島県水害リスクマップ運用〈県〉
- ・戸別受信機による防災，気象情報の充実〈市〉

【地域の防災力向上】
- ・防災研修，出前講座等〈県，市，気象庁〉
- ・防災チラシの配布〈市〉
- ・個別避難計画の作成〈市〉

※今後，関係機関と連携し対策検討

※具体的な対策内容については，今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

西方川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～ いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

〇西方川水系では，流域全体を俯瞰し，県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって，以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短　期】 流下能力不足解消のため，水位低下を目的とした河道掘削等を主に実施。
土砂災害による流下能力不足防止を目的とした砂防堰堤，急傾斜地崩壊防止設備整備，森林の整備・保全，治山施設の整備を実施。
内水対策として排水路整備を実施。

【中　期】 流下能力不足解消のため，水位低下を目的とした河道掘削等を主に実施。

【中長期】 流下能力不足解消のため，水位低下を目的とした河道掘削等を主に実施。
土地のリスク情報の充実・提供，防災情報，避難体制の検討・連携強化，地域の防災力向上，土地利用・住まい方の工夫など，流域内の被害軽減を目指す。

区分	対策内容	事業主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	鹿児島県，薩摩川内市	河道掘削等		
	内水対策	薩摩川内市	排水路整備		
	土砂災害対策	鹿児島県	砂防施設の整備　等		
	流出抑制対策	鹿児島県，薩摩川内市	森林整備，治山施設整備，雨水貯留施設整備，水田貯留等		
被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫	鹿児島県，薩摩川内市	土砂災害警戒区域等の指定，宅地嵩上げ，高床住宅の建設促進		
被害の軽減，早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	鹿児島県，薩摩川内市	洪水浸水想定区域図の作成・公表，地区防災計画の作成　等		
	防災情報，避難体制の検討・連携強化	鹿児島県，薩摩川内市，気象庁	水位計の設置，防災情報の提供，マイタイムラインの作成・支援，水害リスクマップの運用		
			個別受信機による防災，気象情報の充実		
	地域の防災力向上	鹿児島県，薩摩川内市，気象庁	防災研修，出前講座，防災チラシの配布　等		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

西方川水系流域治水プロジェクト

【個別対策】

～いつか必ずくる大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

北薩地域流域治水協議会

西方川水系流域治水プロジェクト

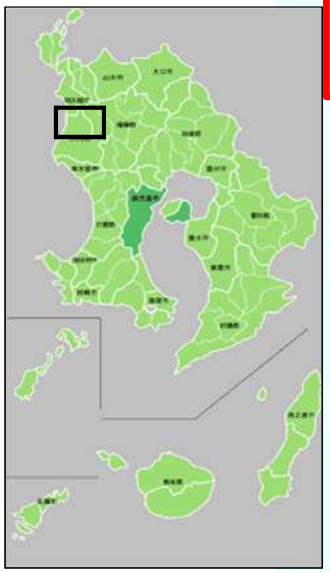
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

西方川水系流域治水プロジェクト

～ いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

河道掘削等【鹿児島県】

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
【洪水氾濫対策】
・河道掘削等



施工イメージ

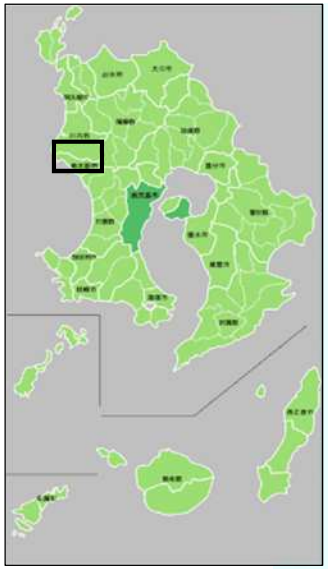
区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河道掘削等	鹿児島県	――――		

※具体的な対策内容については，今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

西方川水系流域治水プロジェクト

～ いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策【薩摩川内市】



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	内水対策	排水路整備	薩摩川内市		➡	
	流出抑制対策	公共施設による雨水貯留施設整備， 水田貯留	薩摩川内市			➡

西方川水系流域治水プロジェクト

～ いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ハード対策）【鹿児島県】

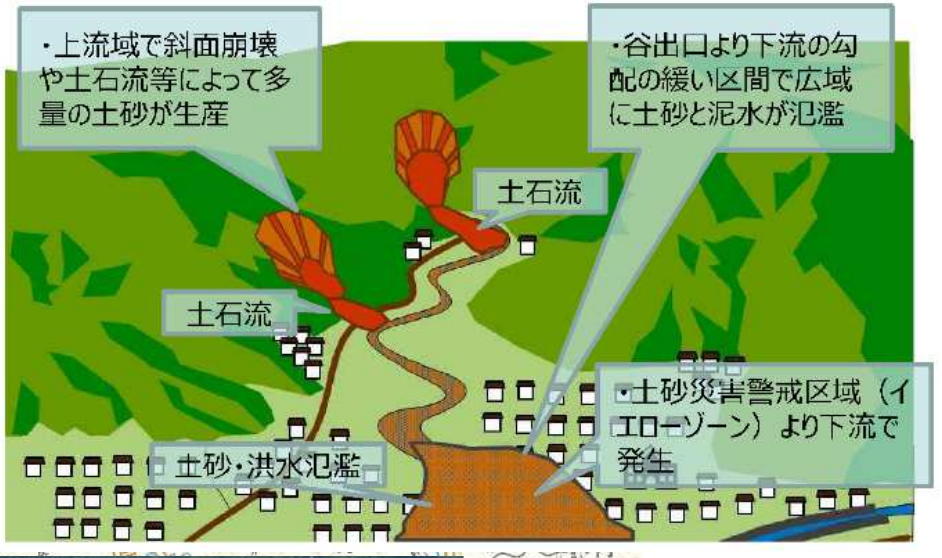
○社会・活動を支える地域の基礎的なインフラの集中保全

・ハード施設により確実に「いのち」を守ることに加え，物流ネットワークや電力，水道，通信，学校，病院など「くらし」に直結する基礎的なインフラを集中的に保全

○土砂・洪水氾濫対策の推進

・上流域から流出した多量の土砂が谷出口より下流の河道に堆積し，河床上昇・河道埋塞により引き起こされる土砂，泥水及び流木の氾濫発生を防止

砂防関係施設の整備



砂防事業（薩摩川内市　庄之尾川）

砂防事業（薩摩川内市　庄之尾川）

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工　程		
				短　期	中　期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県	➡	➡	➡

西方川水系流域治水プロジェクト

～ いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

森林整備・保全・治山施設整備の取組【鹿児島県，薩摩川内市等】

○人工造林（再造林）などの森林整備を行い，保水機能の維持を通じて，土砂や流木等の流出抑制を図る。
○治山施設の整備による森林の復旧を行い，下流への土砂流出抑制を図る。

【森林整備イメージ】

人工造林（再造林）

間　伐

整備前

整備後

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 森林整備による流出抑制対策
- 治山施設整備による土砂流出抑制対策

【治山施設整備イメージ】

豪雨等に伴う山地災害

治山施設の整備（渓間工･山腹工）

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程 短期	工程 中期	工程 中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全 治山施設の整備	森林整備による流出抑制対策	県･市町･森林組合等	■	■	■
		治山施設整備による土砂流出抑制対策	県	■	■	■

西方川水系流域治水プロジェクト

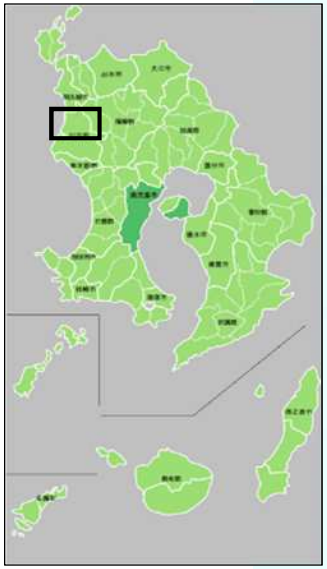
被害対象を減少させるための対策

西方川水系流域治水プロジェクト

～ いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

宅地嵩上げ、高床住宅の建設促進【薩摩川内市　建設住宅課】

災害時の状況を把握しながら、被害対象を減少させるため、浸水が想定される区域に対する宅地の嵩上げや高床住宅の必要性の周知を行う。



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫	宅地嵩上げ、高床住宅の建設促進（浸水等が想定される地域への周知）	薩摩川内市	➡		

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

西方川水系流域治水プロジェクト

～ いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ソフト対策）【鹿児島県】

○地域の防災力を高める警戒避難体制の強化

・土砂災害警戒区域等の指定を進め，認知度向上を図る。

・リスク情報をより分かりやすく伝えることで地域住民の理解を深めるとともに、自助・共助を強力に支援することで、地域全体の防災力を向上
（「土砂災害警戒区域等マップ」，「河川砂防情報システム」として県ホームページに公表）

土砂災害警戒区域等の指定

土砂災害警戒区域　　：23，842箇所
土砂災害特別警戒区域：20，462箇所
（令和7年3月末時点）

土砂災害防災訓練

垂水市

土砂災害に関する出前講座

喜界町立早町小学校

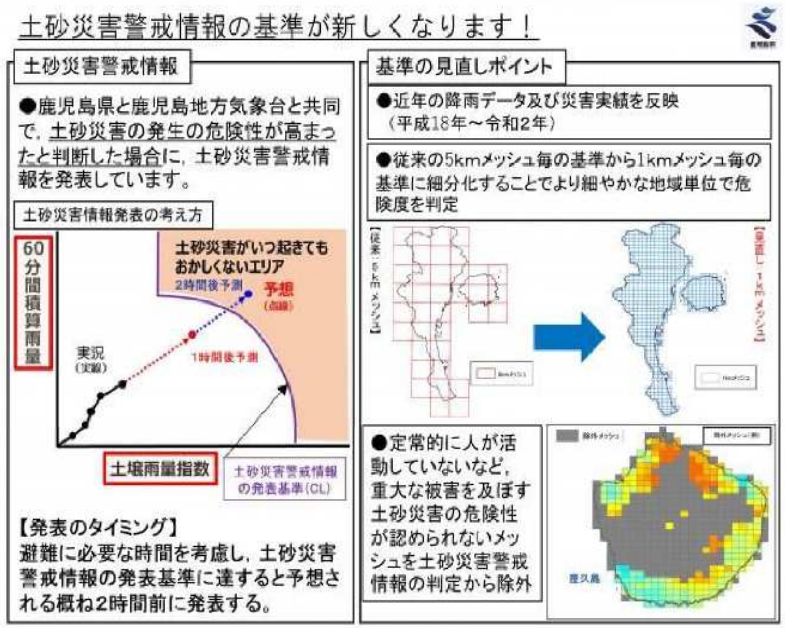
志布志市

南種子町立島間小学校

土砂災害警戒区域，雨量，土砂災害警戒情報などのリスク情報の提供

鹿児島県土砂災害警戒情報の発表基準の変更

○鹿児島県と鹿児島地方気象台は，土砂災害警戒情報の発表基準を見直し，令和４年１１月２４日から新たな基準により運用。



鹿児島県河川砂防情報システム

鹿児島県土砂災害警戒区域等マップ

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工　程		
				短　期	中　期	中長期
被害対象を減少させるための対策	地域の防災力を高める警戒避難体制の強化	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県	➡	➡	➡

西方川水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

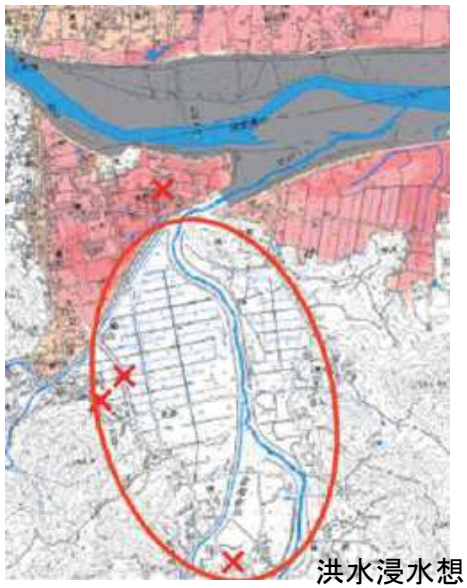
西方川水系流域治水プロジェクト

～ いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

洪水浸水想定区域図の作成・公表　【鹿児島県】

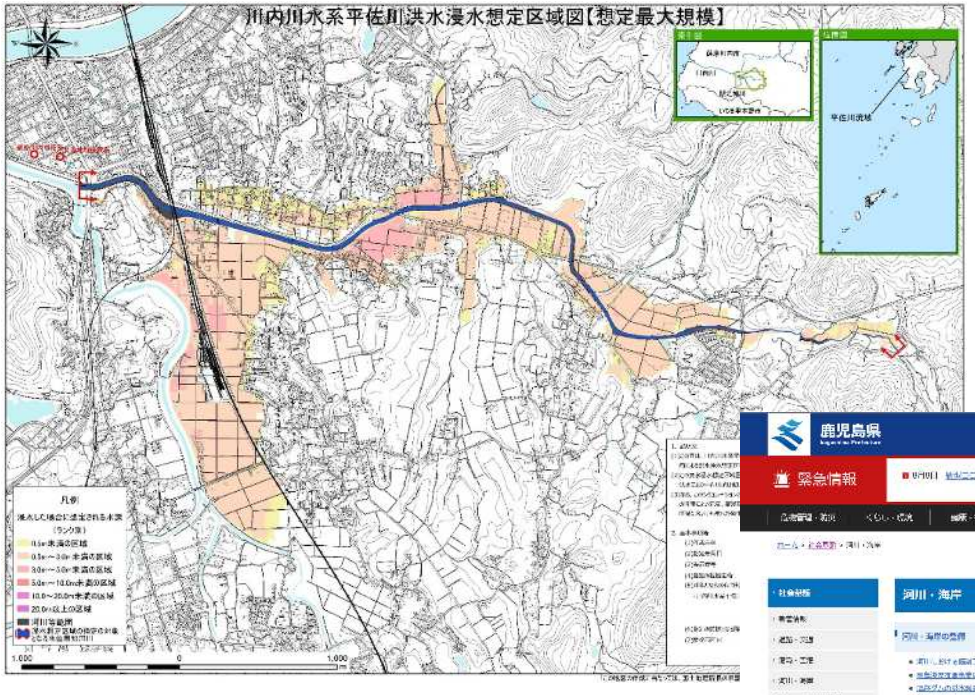
・　現在の水防法では，洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川に限定されており，設定がない河川付近では水害リスクがないと誤解されがちな状況である。
・　令和3年の水防法の改正に伴い，洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川等だけではなく，住家等の防御対象のあるすべての河川に拡大された。
・　新たに設定が可能となった河川について，洪水浸水想定区域図を作成（令和8年3月までに公表予定）し，水害リスク情報空白域の解消を図る。

洪水浸水想定区域外で浸水被害があった事例



洪水浸水想定区域の設定がなく，水害リスクが示されていないエリア（水害リスク情報空白域）

浸水想定区域図（仙台河川国道事務所）
赤×印は被害発生位置



洪水浸水想定区域図のイメージ

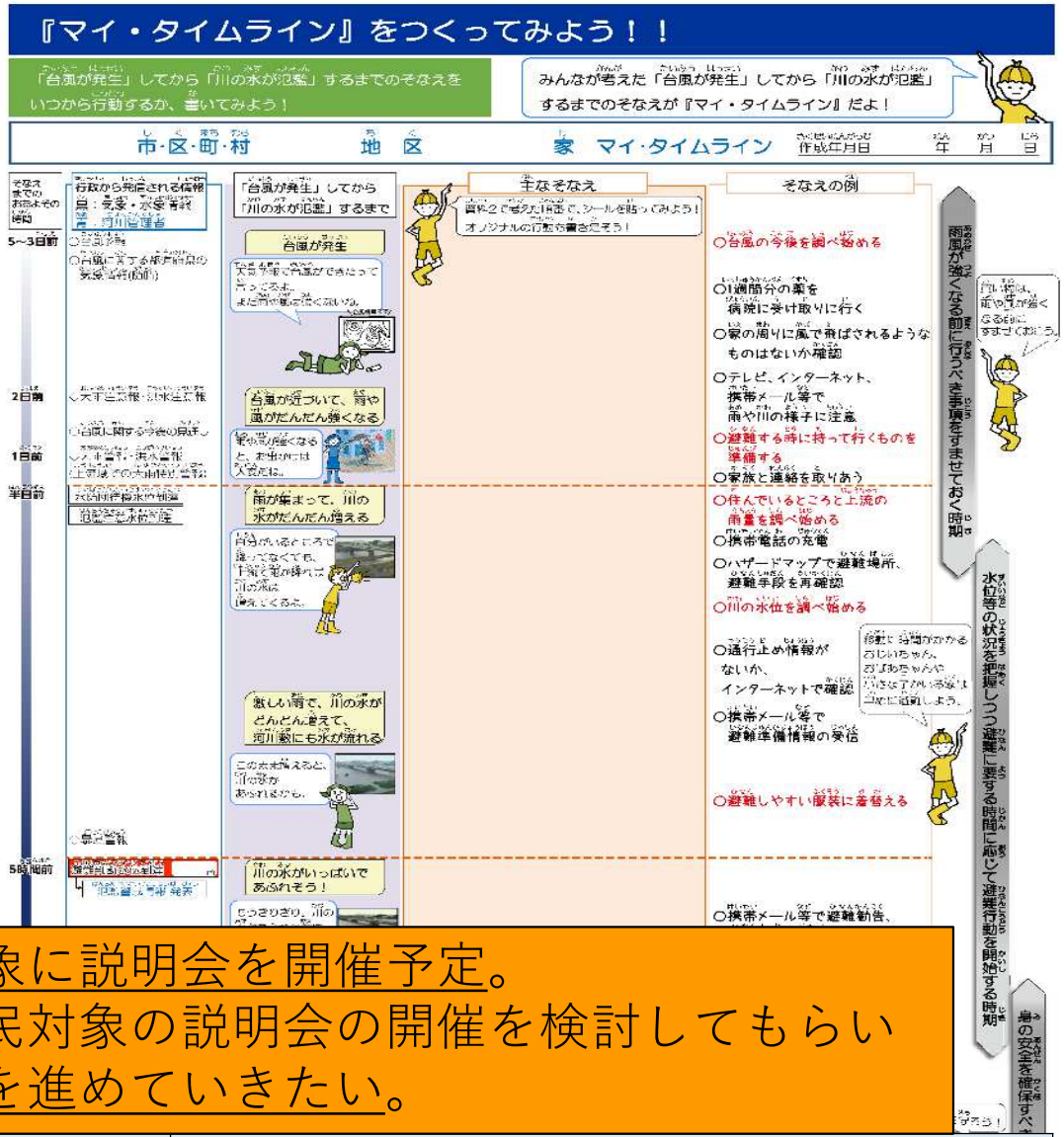
県HPで公表予定

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工　程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実	洪水浸水想定区域図の作成・公表	鹿児島県	➡		

西方川水系流域治水プロジェクト

～ いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

マイタイムラインの作成・支援　【鹿児島県，薩摩川内市，気象庁】



今後，県及び市町村の防災担当職員を対象に説明会を開催予定。
それを受けて，各市町村において地域住民対象の説明会の開催を検討してもらい住民自らが作成していけるよう取り組みを進めていきたい。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	マイタイムラインの作成・支援	鹿児島県，薩摩川内市，気象庁	➡	➡	➡

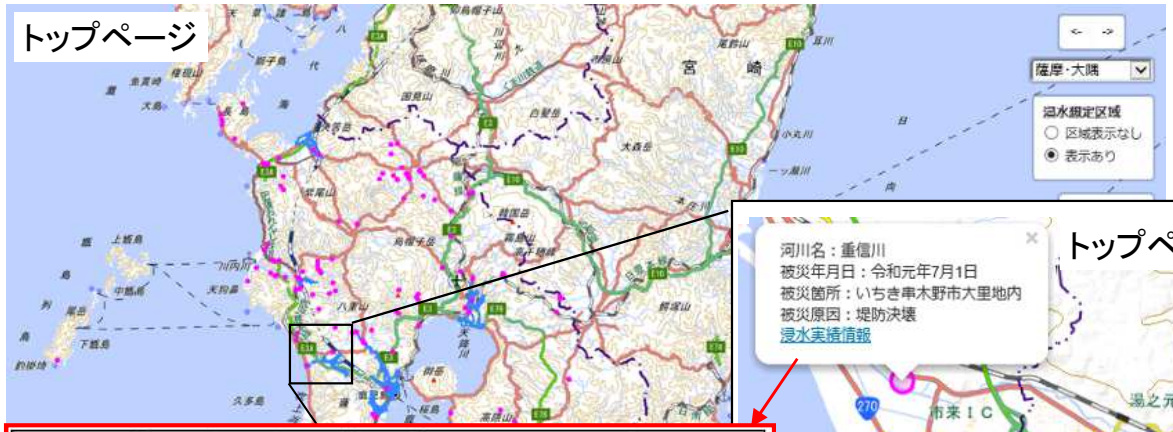
西方川水系流域治水プロジェクト

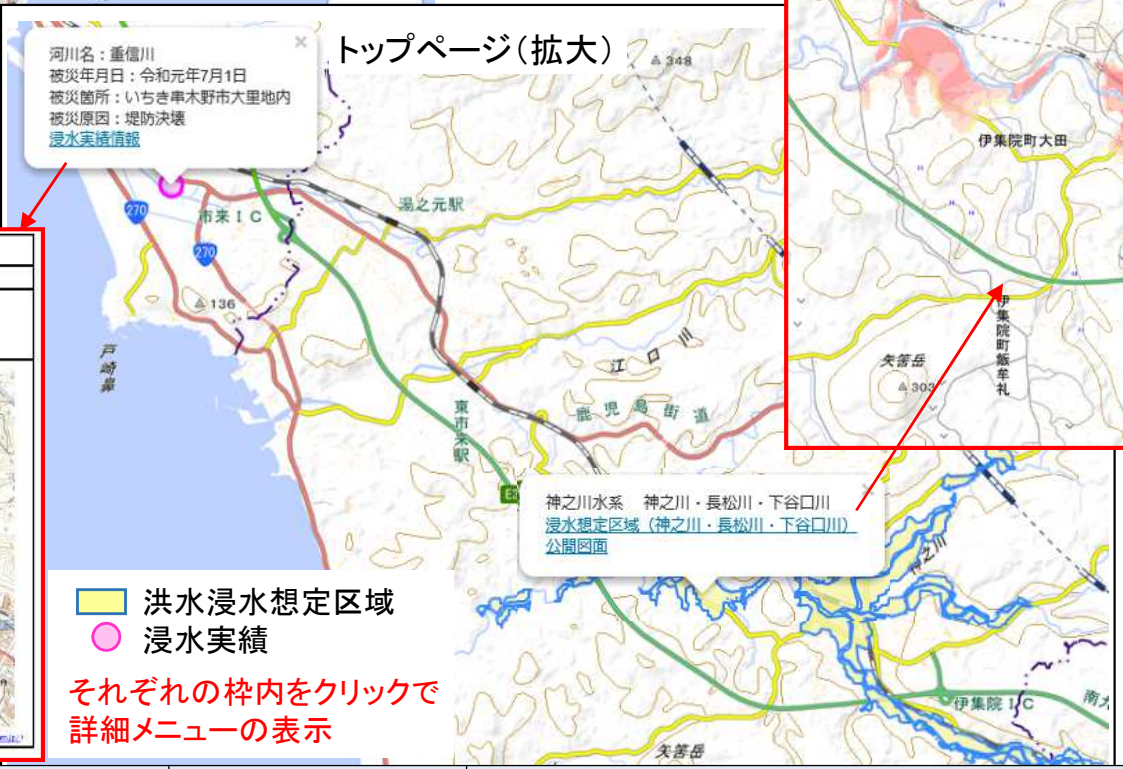
～ いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

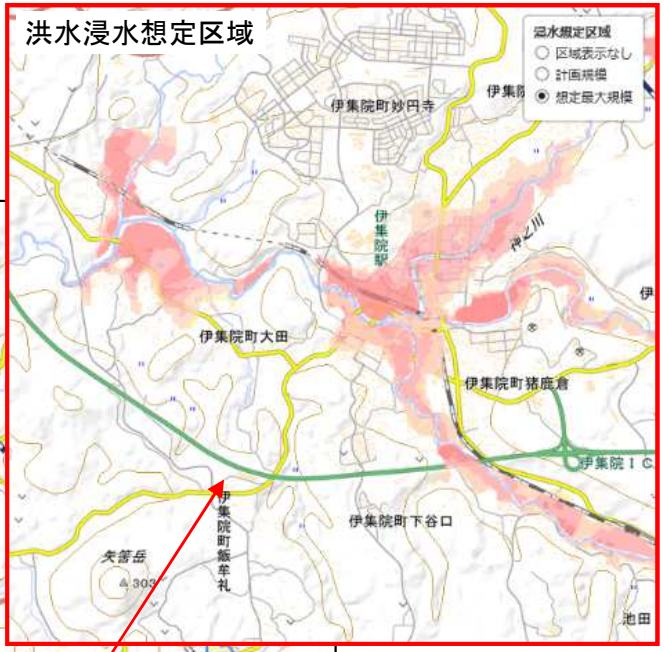
鹿児島県水害リスクマップの運用【鹿児島県】

・鹿児島県で把握・公表している水害リスク情報（洪水浸水想定区域や浸水実績）について，地図情報上に集約化し，わかりやすく県ホームページに公表（R3.2月末より運用）

http://www.kago-kengi-cals.jp/kasen/doui.html







区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	鹿児島県水害リスクマップの運用	鹿児島県	➡		

西方川水系流域治水プロジェクト

～ いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

地域の防災力向上【鹿児島県，薩摩川内市】

地域の防災リーダー育成

地域防災リーダー養成講座の様子

講義（自主防災組織）

AEDを使用した心肺蘇生法訓練

モデル地区による地区防災計画作成

↑
ＤＩＧ（災害図上訓練）の様子

防災さんぽ（まち歩き）
↓

防災研修センターによる出前講座

その他の取組

- MBCﾗｼﾞｵ「防災ワンポイント」
- 防災･お天気フェア
- 防災啓発研修会　等

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧･復興のための対策	地域の防災力向上	防災研修，出前講座等	鹿児島県，薩摩川内市	➡		

西方川水系流域治水プロジェクト

～ いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

地域の防災力向上【鹿児島県，薩摩川内市】

個別避難計画作成

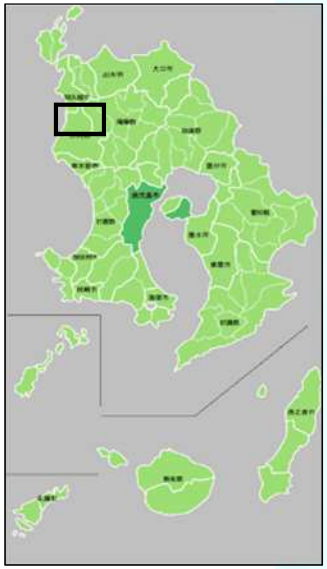
・市町村においては，災害対策基本法に基づき，避難を支援するための避難行動要支援者名簿（以下「名簿」という。）の作成が義務づけられており，本県では，全市町村が作成済となっている。
・当該名簿については，本人の同意を得るなどし，市町村から消防機関や自主防災組織等へ提供できることとなっており，市町村において取り組んでいるところ。
・また，市町村は，名簿情報に係る避難行動要支援者ごとに，個別避難計画を作成することとしており，令和６年４月１日現在の作成状況は，全ての市町村において，全部策定済みまたは一部策定済みとなっている。
・県では，引き続き，市町村に避難行動要支援者への対応に関する取組を紹介するなどして，名簿情報の提供や計画作成を促進してまいりたい。
・これらを踏まえ，市の努力義務となっている個別避難計画の作成について，流域治水プロジェクトにおいても，あらゆる関係者と共に議論していく必要がある。

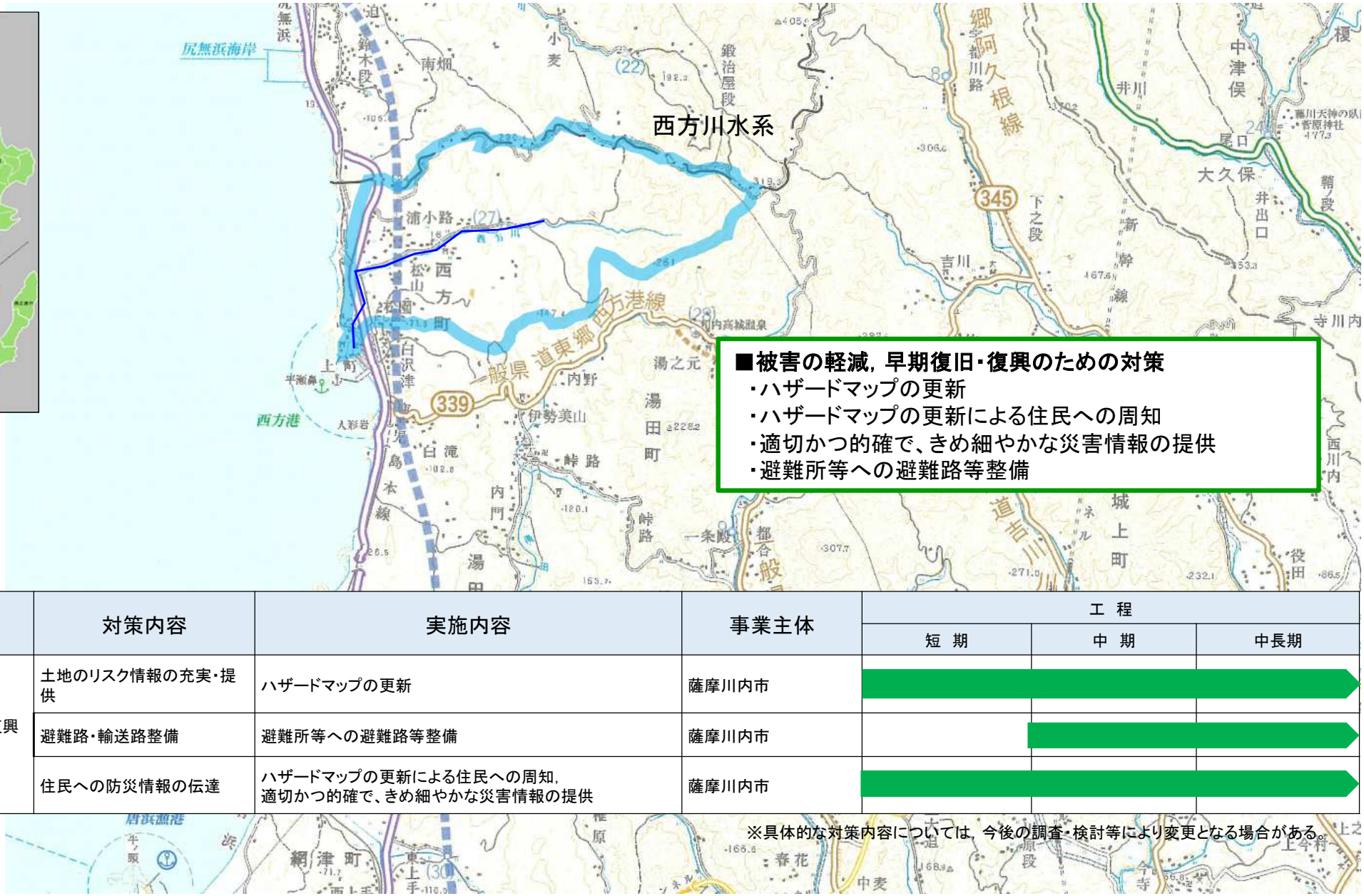
区分	対策内容	実施内容	事業主体	工　程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	災害時における要配慮者への支援	個別避難計画策定支援	薩摩川内市	➡		

西方川水系流域治水プロジェクト

～ いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

被害の軽減，早期復旧・復興のための対策【薩摩川内市】





区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	ハザードマップの更新	薩摩川内市	■	■	■
	避難路・輸送路整備	避難所等への避難路等整備	薩摩川内市		■	■
	住民への防災情報の伝達	ハザードマップの更新による住民への周知， 適切かつ的確で、きめ細やかな災害情報の提供	薩摩川内市	■	■	■

※具体的な対策内容については，今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

西方川水系流域治水プロジェクト

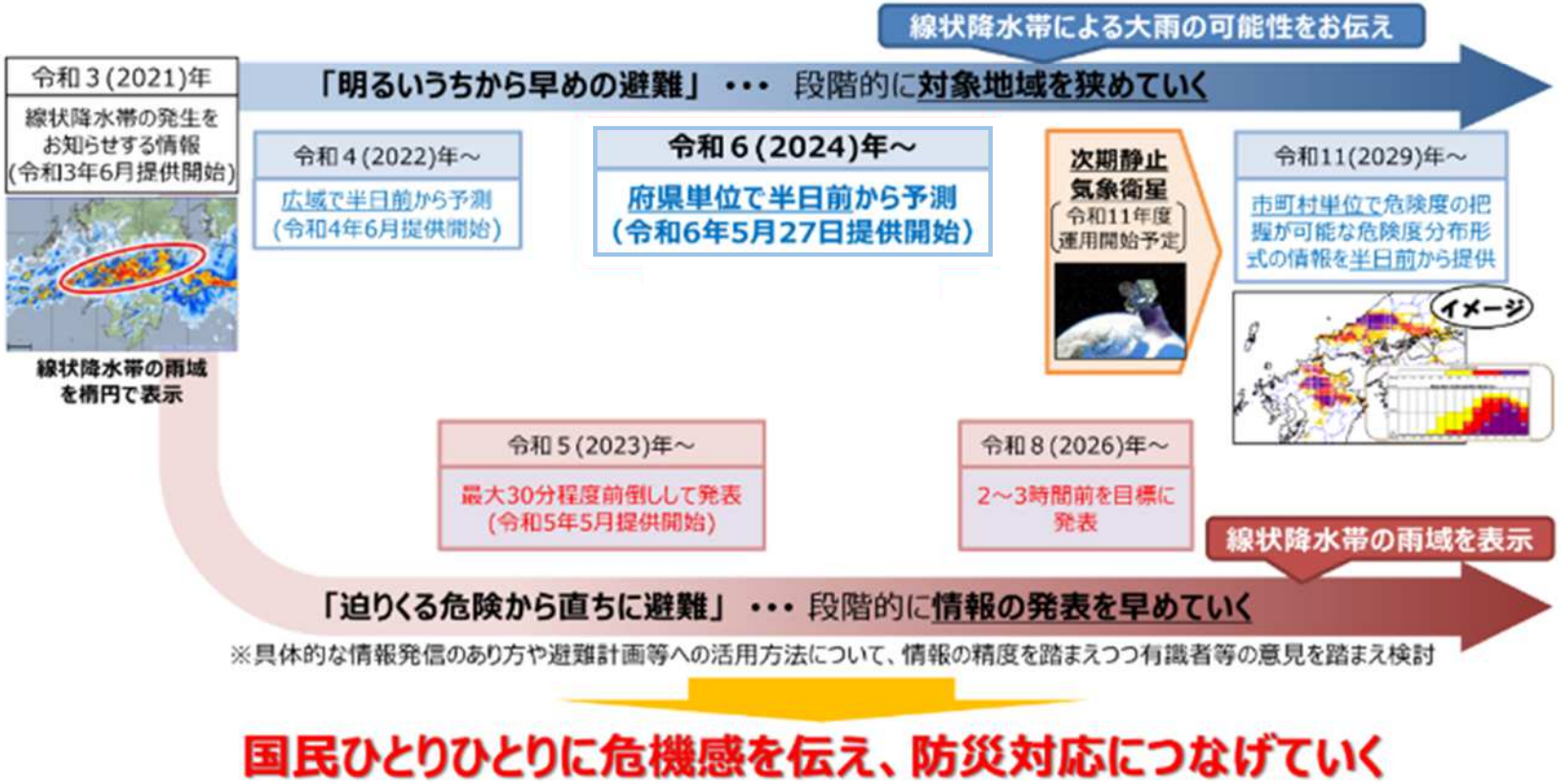
～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

気象庁HP利用促進、防災気象情報の改善【気象庁】

線状降水帯の予測精度向上に向けた取組（情報の改善）

観測の強化、予測の強化の取組の成果を順次反映することで、線状降水帯に関する情報の段階的な改善を実施。
- 令和４年６月、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけ（広域を対象）を開始。
- 令和５年５月、線状降水帯の発生をお知らせする情報（最大30分程度前倒しして発表）を開始。

令和６年５月から、半日程度前からの呼びかけについて、対象地域を府県単位に絞り込んでの運用を開始。



※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく

線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ

鹿児島県（奄美地方を除く）令和6年の実績

呼びかけを行った回数　4回
線状降水帯の発生　2回
適中率　50%
捕捉率　100%

呼びかけを行った4回に対して、3回で3時間降水量最大値が100ミリを超えた

↓

呼びかけを行った場合、線状降水帯が発生しなくても大雨となったことに留意

この呼びかけが行われたときには、大雨災害への心構えを一段高めていただくことが重要

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討、連携強化	気象庁HP利用促進 防災気象情報の改善	気象庁	■	■	

西方川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

気象庁HP利用促進、防災気象情報の改善【気象庁】

警戒レベル相当情報の体系整理（情報の改善）

◎ **シンプルでわかりやすい情報体系・名称に整理**　**※令和8年度出水期からの運用開始予定**

【洪水】：氾濫による社会的な影響が大きい河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫を対象とし、河川ごとの情報とする。これ以外の河川の外水氾濫については、内水氾濫と併せて市町村ごとに発表する【大雨浸水】に関する情報とする※1。

【土砂災害】：発表基準の考え方を統一し、災害発生の確度に応じて段階的に発表する情報とする。

【高潮】：潮位に加えて沿岸に打ち寄せる波の影響を考慮し、災害発生又は切迫までの猶予時間に応じ段階的に発表する情報とする。

		洪水に関する情報「洪水危険度」 氾濫による社会的影響大の河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫	大雨浸水に関する情報「大雨危険度」※1 内水氾濫及び左記以外の河川の外水氾濫	土砂災害に関する情報「土砂災害危険度」	高潮に関する情報「高潮危険度」
発表単位		河川ごと	基本的に市町村ごと	基本的に市町村ごと	沿岸ごと又は市町村ごと※2
警戒レベル相当情報※4	5相当	レベル5 氾濫特別警報※3	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報※3
	4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
	3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
	2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報

左記情報名称のポイントをシンプルに表現
→将来的に「警戒レベル」が社会に十分に浸透した際には、以下のようなシンプルな形の名称を検討することも一案。

		洪水危険度	大雨危険度	土砂危険度	高潮危険度
警戒レベル相当情報	5相当	洪水レベル5	大雨レベル5	土砂レベル5	高潮レベル5
	4相当	洪水レベル4	大雨レベル4	土砂レベル4	高潮レベル4
	3相当	洪水レベル3	大雨レベル3	土砂レベル3	高潮レベル3
	2	洪水レベル2	大雨レベル2	土砂レベル2	高潮レベル2

・ 情報名称の最終決定は、法制度や実際の情報の運用、伝え方なども踏まえ、気象庁・国土交通省が行う。

※1 警戒レベル相当情報への位置づけについては、関係機関で今後の課題として検討。

※2 発表単位をどうすべきかについては、情報利用者の視点も踏まえつつ、引き続き関係機関で検討。

※3 洪水予報河川または水位周知河川、高潮に関する情報の対象沿岸において氾濫の発生を確認した場合、その旨を氾濫特別警報または高潮特別警報の文章情報等に明記。

※4 警戒レベル相当情報とは、国・都道府県が発表する防災気象情報のうち、居住者等が自ら行動をとる際の判断に参考となる防災気象情報と５段階の警戒レベルとを関連付けるものである。警戒レベル相当情報が発表されたとしても必ずしも同時刻に同じレベルの避難情報が発令されるものでない。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討、連携強化	気象庁HP利用促進 防災気象情報の改善	気象庁	➡	➡	

西方川水系流域治水プロジェクト

～ いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】

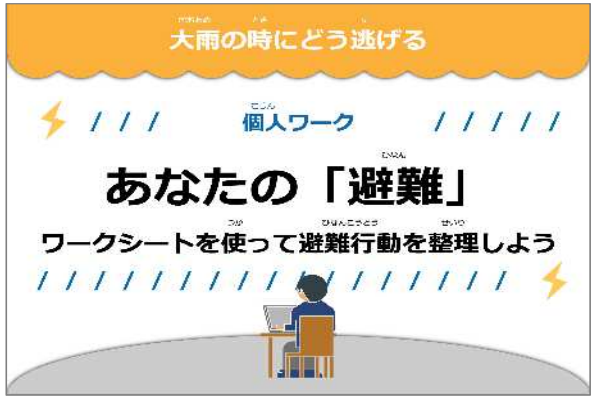
気象庁 eラーニング教材「大雨のときにどう逃げる」

- ○ 新しい生活様式でのオンライン学習に対応（教材は気象庁HPで公開）
- ○ マイ・タイムラインの事前学習に最適
- ○ 個人学習だけでなく、自治会や学校などでも活用できる教材
- ○ 難しく考えず、気楽に取り組むことが可能

アドレス
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jma-el/dounigeru.html

「自らの命は自らが守る」
基本の知識を動画で学ぶ

約17分



自分の避難行動を
ワークシートに整理

約30分

一歩
進んで

みんなで意見交換して
自分の避難を再確認

約30～40分

1時間の学習にピッタリ

Web会議でも実施できます

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁	→	→	

西方川水系流域治水プロジェクト

～ いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策 ～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】

防災教育支援ポータル
－ １０分で防災 －

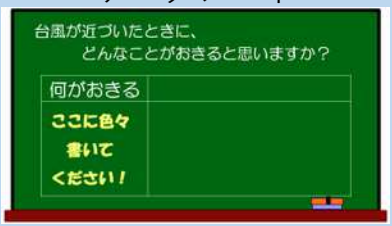
福岡管区気象台HP（教材はこちら）
https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/chosa/education/10mb.html

10分で防災

- ○ **短時間**で命を守る防災の学習
- ○ **子どもたち自身**で考え、話し合う機会をつくる
- ○ 災害を自分のこととして考える**「きっかけ」**となることを期待
- ○ 難しく考えず、**気楽に**取り組むことが可能
- ○ **４現象**（台風、大雨、地震・津波、火山）**の教材を用意**

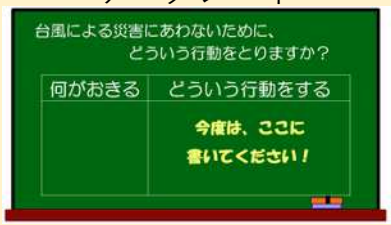
ステップ１　考える①

ワークシート



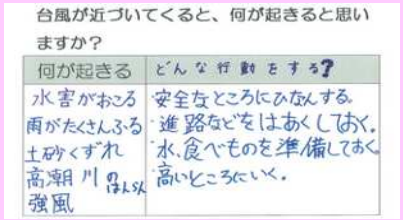
ステップ１　考える②

ワークシート



ステップ２　話し合う

他人の考えを聞いて、新たな「気づき」を生み出す



ステップ３
振り返りとまとめ

通学路のそばを流れる小川。用水路や道路のマンホール。普段は何でもない場所が、突然の大雨で、命を落とす場所に変わることがあります。「自分の身は自分で守る」という意識を身につけましょう。

起きる災害を考える → 自分の行動を考える → 行動を話し合う → 各班の意見をみんなで聞きましょう

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁	■	■	